

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成28年6月23日 (2016.6.23)

【公開番号】特開2016-73273(P2016-73273A)
 【公開日】平成28年5月12日 (2016.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報2016-028
 【出願番号】特願2015-166615(P2015-166615)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成28年4月7日 (2016.4.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ニッキングおよび伸長増幅の反応をリアルタイムでモニタリングする方法であって、

(a) 試験試料を、等温条件下で、ポリメラーゼ、それぞれが標的核酸分子上の相補的配列に特異的に結合する 2 つ以上のプライマーオリゴヌクレオチド、ニッキング酵素、および検出可能なポリヌクレオチドプローブと接触させるステップであって、前記プライマーオリゴヌクレオチドのそれぞれは、前記標的核酸分子と相補的な配列の 3' 末端に位置する 1 つ以上の 2' 修飾ヌクレオチドを含むステップ；

(b) 前記標的核酸分子の少なくとも一部を含むアンプリコンを生成するステップ；ならびに

(c) シグナルをリアルタイムで検出し、それにより前記標的核酸分子を定量するステップ

を含む方法。

【請求項 2】
 前記試験試料は、病原体を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】
 前記病原体は、ウイルス、細菌、酵母または真菌である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】
 前記試験試料は、生物試料である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】
 前記生物試料は、生物体液、細胞、または組織試料である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】
 前記生物体液は、尿、精液、膺分泌液、または糞便である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】
 前記試験試料は、環境試料である、請求項 1 に記載の方法。